

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田日中のニュース 2020年7月号第323号

7月の予定

- ・12日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- ・17日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつら
- ・26日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- ・27日(月) 長野県日中友好協会理事会/長野市

第58回長野県日中友好協会定期大会議案 書面議決で承認される

5月21日に予定されていた長野県日中友好協会定期大会は、新型コロナウイルス感染防止対策として全国に発出された「緊急事態宣言」をうけ、書面議決方式で行われました。これを受け、6月30日には常任理事会が開催され、大会決定の議案等を確認し、新年度の活動について協議が行われました。

今年度は、戦後75年、日中友好協会創立70周年の年にあたり、様々な事業が予定されています。しかし新型コロナウイルス感染防止の観点から、現時点で中止が決定したり、今後の状況により判断を行う事業も多々あります。

飯田日中友好協会としても、コロナ禍の1日も早い終息を願いながら、可能な限り長野県日中友好協会の事業に参加、協力を行ってまいります。なお、現時点で下記事業の中止又は延期が決まっています。(飯田日中参加協力事業のみ抜粋)

- ◎日中友好協会70周年記念講演と祝賀のつどい(10月初旬)
- ◎日中友好交流会議と日中友好協会創立70周年記念祝賀大会(10/18～21の一年延期の可能性あり)
- ◎日中友好キャンプ…中止
- ◎中国留学生ホームステイ受け入れ事業…中止
- ◎日中友好スキー交流会…中止
- ◎中国帰国者への理解を深める県民のつどい…中止
- ◎飯田国際交流推進協の「国際交流のタベ」…中止

中国残留邦人等地域生活支援事業

高齢者日本語教室を再開しました!!!

飯田日中友好協会では、新型コロナウイルス感染予防のため、2月から休止していた「高齢者日本語教室(はつらつサロン教室)」を6月から再開しました。広い会場を使用し、換気、消毒などを充分に行いました。コロナの影響で出かける機会も少なく、自宅にこもりがちだった参加者の皆さんは、軽い体操でその体をほぐし、4か月ぶりに会えた仲間と楽しいおしゃべりの時間を過ごしました。(了)

先月6月の活動日誌

- 18日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ
- 14日28日(日) 2・3世向け日本語教室/阿智
- 26日(金) 満蒙開拓平和記念館運営委員会/記念館
- 30日(火) 長野県日中友好協会常任理事会/長野市

なお、飯田日中協の今年度のが理事会が延びています。県日中協の今年度第一回理事会が7月27日(月)に予定されていますのでこの結果をもって、8月初旬に第一回の理事会を開催します。(別途ご通知しますのでお願いします。)

(中国残留孤児、残留婦人の証言集発刊の紹介)

元短大講師
埼玉・川越

藤沼さんが証言集出版

第二次世界大戦の終戦時、旧満洲(中国東北部)で生死の境をさまよった中国残留孤児や残留婦人。この中国残留孤児・婦人から中国帰国者の人たちに関して、北海道から沖縄まで自らの足で訪ね歩き、全国二百人近くの方々からインタビューを撮り続け、その結果を自らのホームページ『アーカイブス中国残留孤児・残留婦人の証言』(<http://kikokusya.wixsite.com/kikokusya>)に公開してきたのが、埼玉県川越市の元短大講師藤沼敏子さん(67)であります。今回、このネット上の記録(声)を時間をかけて丁寧に文字化し、後世への貴重な歴史資料として、また次代の人たちに是非読んで欲しいと、昨年七月発刊した証言集『不条理を生き貫いた三四人の中国残留婦人(残留婦人編)』に続き、この七月、シリーズ第二弾、残留孤児編『あの戦争さえなかったら六二人の中国残留孤児たち(上巻)』続いて『同シリーズ(下巻)』を発刊しました。

藤沼敏子さんは、「中国残留孤児・婦人」問題に長く拘わり、女性の立場から様々な場面で中国残留孤児問題等に深く関わってこられました。飯田日中としても、藤沼さんとは長く情報交流を深めて参りました。正に残留孤児婦人さらには中国養父母問題にも心を寄せてこられた方であり、今回の発刊に当たっては、満蒙開拓平和記念館とも関わりが深い、法政大学の高柳俊男先生が、「推薦の言葉」を寄せられております。高柳先生の「推薦の言葉」(記録を残すと言うことは、過去を未来へとつなぐ)とおっしゃっています。藤沼さんの、帰国者への思いとお人柄もお分かりになれます。是非、多くのおみなさんにご購読をお願いします。(各巻/定価二五〇〇円です。)

あの戦争さえなかったら六二人の中国残留孤児たち

上巻

- 第1章 北海道(七人)
- 第2章 東北(九人)
- 第3章 中部(一八人)
- 内飯田下伊那(一三人)
- 第4章 関東(六人)

下巻

- 第5章 関西(四人)
- 第6章 山陽(三人)
- 第7章 四国(四人)
- 第8章 九州(五人)
- 第9章 沖縄(五人)
- 第10章 帰国を選択しなかった(一人)
- 第11章 中国の養父母(八人)

注文、お問い合わせは080 4440 2937 小林までお願いします。

